

神奈川県立えびな支援学校

居住地交流について



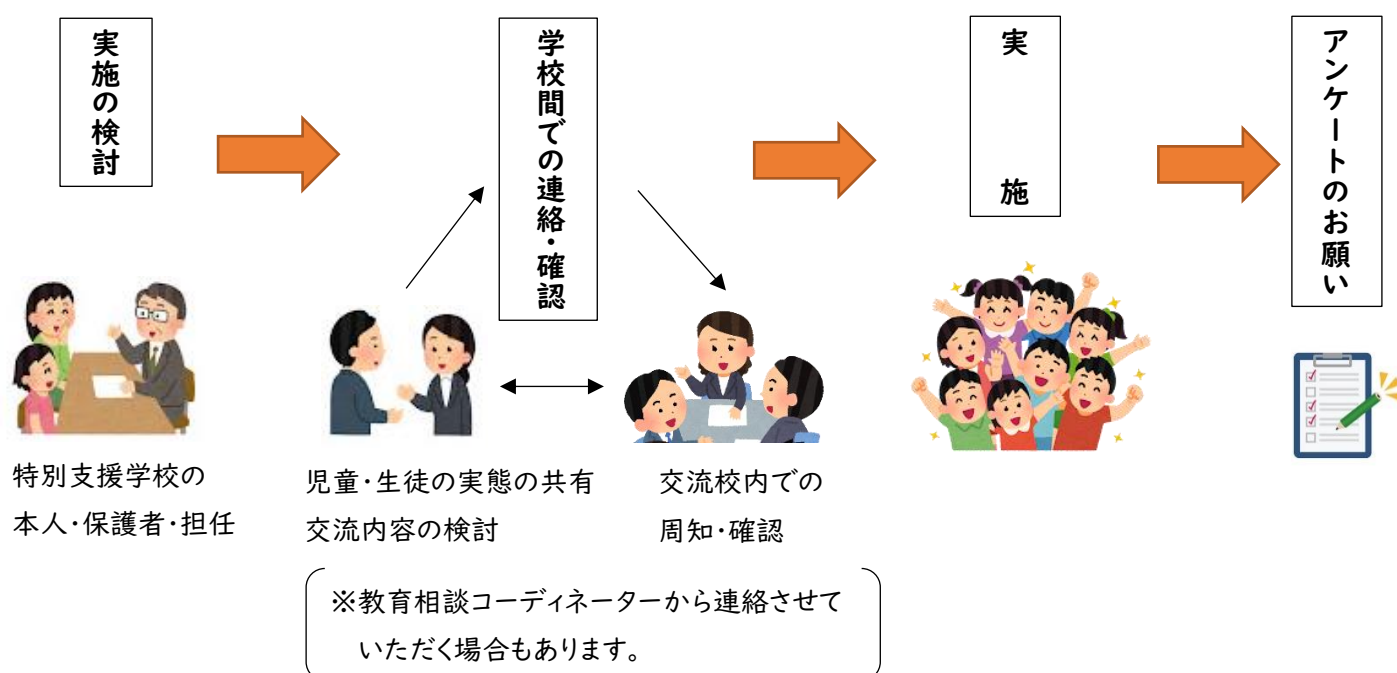
令和7年 4 月

○居住地交流とは？



居住地交流は、特別支援学校の児童・生徒が地域とのつながりを持つことができ、共生社会の実現に向けた大切な取り組みです。
交流及び共同学習の1つで、本校の児童生徒が居住地の小・中学校等の児童・生徒とともに学習し交流することを目的としています。

○居住地交流の流れ（計画～実施まで）



○居住地交流の責任の所在及び引率

在籍校の教育課程の一環として在籍校の責任において実施します。
初回は必ず教員が引率をしますが、2回目以降は児童・生徒の状態やこれまでの実績等の状況を踏まえて保護者の付き添いのみにするなど
在籍校と交流校との間で協議し、引率についての対応を決めることができます。



○どのような交流があるの？(これまでの交流例)



交流実施決定から交流の前日、または当日の交流前に「出前授業」を行い、支援学校の紹介や〇×イズ、自己紹介(写真や動画を使いながら)などを行うことができます。
障害理解やユニバーサルデザインについてなどの話をすることもありました。

出前授業をした後、オンラインで学校同士を繋いで、自己紹介や教室の雰囲気などを見ました。



体育(特別活動)の時間にみんなで『ボッチャ』や『パラシュート』を行いました。
ボッチャの補助になる傾斜台をもって行ったり、レインボーや四角いパラシュートを持って行ったりしてみんなで楽しく交流しました！

本校の教員と交流校の教員がそれぞれリーダーになって授業を展開していきましました！



本校の児童・生徒の情報を基に交流校の児童・生徒たちがクラスで話し合い、全員で楽しめる内容を考えてくれて交流しました！(座ったままでできる活動、風船バレー、自己紹介をしながらフルーツバスケット等)

※「居住地交流計画案」を基に担任または教育相談コーディネーターと内容の相談をさせていただきます。
※両校にとって充実した交流となるようにご不明な点がございましたらぜひご相談ください。

<問合せ>

神奈川県立えびな支援学校 相談支援チーム

〒243-0422

海老名市中新田4-5-1

TEL：046-292-5618(相談直通)

FAX：046-292-5620

E-mail:soudan-ebina-sh@pen-kanagawa.ed.jp



本校では、共生社会の実現におけた取組のひとつとして、本校や特別支援学校への理解を深めることを目的として公式Instagramを開設しました。本校の取組や児童・生徒の作品等を紹介しています。ぜひご覧ください。



えびな支援学校
公式 Instagram

学校の取組を
発信しています